



2014年度助成 申請者のためのガイド

申請書受付期間

2013年10月1日(火)

~11月29日(金)

2014年度<平成26年度>助成 申請者のためのガイド

はじめに

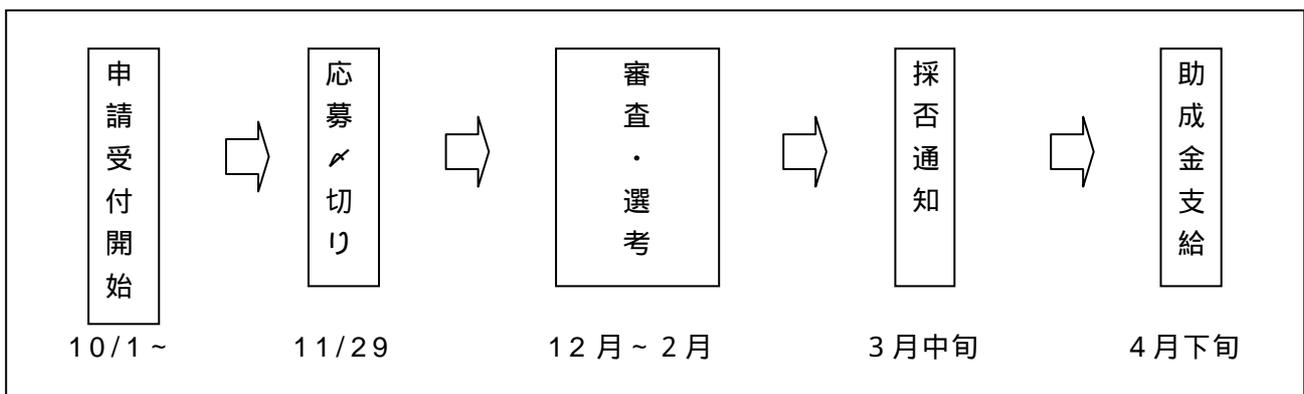
大阪コミュニティ財団は、1991年11月に設立されて以来、一般市民や企業・団体からの「志」のこもったご寄付を、名前を付けた基金のかたちでお受けし、そのお志に沿った活動を行っていただける団体等に助成してまいりました。その件数は、これまでに、1800件を超え、累計の助成額は9億6000万円に上っています。

このたび、大阪コミュニティ財団に設置されている基金のうち、2014年度助成(2014年4月支給)を公募する基金と金額が決定し、募集を開始することになりました。助成をご希望の方は、本ガイドを参照のうえ、申請をお願いいたします。

なお、**昨年度と助成申請書のフォームが異なっていますので、ご注意ください。**

いろいろな分野で、社会貢献活動に真摯に取り組んでおられる皆様からの多数の応募を、お待ちしております。

スケジュール



助成

1. 助成対象となる団体・事業

1年以上の活動実績を有する非営利団体(法人格の有無は問いません)が、2014年4月1日から2015年3月31日までの間に、実施を予定している公益に資する事業。

2. 助成対象にならない団体・事業

- (1) 営利を目的とするもの
- (2) 宗教上の活動を目的とするもの
- (3) 特定の政治上の主義を推進し、支持し、またこれに反対することを目的とするもの
- (4) 基金寄付者と特別な利害関係にあると判断される団体・事業
- (5) 債務の弁済や基本財産の出捐を目的とするもの
- (6) 個人(奨学金の場合は個人も対象。)
- (7) 活動実績が1年に満たない団体
- (8) 当財団から過去に助成を受けたが、未だ実施報告書を提出していない団体・事業(事業が完了していないもの)
- (9) 財団の助成先としてふさわしくない団体・事業

3. 助成限度額

助成割合に限度は設けませんが、自己資金をできるだけご用意ください。これまでに同様の申請事業で助成を受けておられる場合は、採択金額が申請金額より削減される場合もあります。

なお、「助成する基金の種類・分野・助成金額」(5ページ以降に掲載)に示されている分野ごとに助成できる金額を上限とします。

4. 助成金の使途

(1) 助成の対象となる経費は、申請事業の実施に直接必要となる経費(下表参照)です。

助成金は助成対象事業以外の目的には使用できません。

(2) 団体が存続する限り恒常的に必要とする費用(スタッフの人件費、団体事務所の家賃・光熱費等)や団体の構成員による会合の飲食費等は助成金の対象となりません。

助成の対象となる経費

費 目	内 容
謝金	事業に必要となる団体関係者以外の外部講師などに対する謝礼金、交通費及び宿泊代など
人件費	事業を行うことにより必要となる新たな人件費
旅費・交通費・宿泊費	事業に必要な旅費や交通費、宿泊費
消耗品費	事業に直接必要な什器・文具などの消耗品の購入費
印刷・製本費	事業に直接必要な募集案内・ポスター・パンフレットなどの印刷・コピー費や冊子作成のための印刷製本費など
通信・運搬費	事業に必要な通信費、郵送費、宅配便代など
借料・会場費	事業実施のための会場使用料や会場設営に関わる経費、バスの借上げ料など
業務委託費	事業の実施に関する委託を行った際の費用
機械器具・物品購入費	事業に必要な不可欠な道具や機材の購入費
その他	上記各費目以外の事業に必要な経費

応募方法

1. 応募の締め切り

2013年11月29日(金)(当日の消印有効)

2. 必要提出書類

(1) 申請書

原本とコピー1部(アンケートと添付書類を除く)を提出してください。

(2) 申請書に添付する書類(各1部で可)

団体の定款、寄附行為、または規約等

団体の役員名簿

最近年度の事業報告書および決算報告書

団体が実施した事業を紹介する写真、パンフ、新聞・雑誌の記事コピー等(同様の事業をこれまでに実施したことがある場合)

助成金を充当したい経費の見積書あるいは価格表等。(事務局や選考委員がそれらの価格の妥当性を判断する為に必要です。)

なお、2013年度に助成を受けた団体が、2014年度も引き続き助成を申請する場合は、その申請の前に、必ず2013年度助成事業の実施報告書を提出してください。申請時点で2013年度助成事業がまだ完了していない場合は、現状までの活動状況をA4用紙1枚に箇条書きし、添付してください。

3. 申請書

「助成申請書」は、当財団のホームページからダウンロードをお願いします。助成申請書を添付ファイルで希望の方は、Eメールで下記事務局あてお求めください。

<http://www.osaka-community.or.jp>

E-mail : info@osaka-community.or.jp

4. 申請書の作成及び送付時の留意事項

申請書の記入及び送付時には、以下の点にご留意ください。

- ・申請書は、添付資料を除き、当財団指定の様式（今年度からWORDでなく、EXCEL文書となっていることにご留意ください）を使用してください。
- ・申請書の記入にあたっては、必ず記入要領をご覧の上、作成してください。
- ・受領した申請書は事務局で数部コピーします。**ホッチキス止めや製本はせず、クリップ等で留めてください。**
- ・同一年度の1団体からの申請は1件です。（複数の申請はできません）
- ・ご提出いただいた「助成申請書」および添付する必要書類は、一切返却致しません。
- ・控えとして、お手元に申請書のコピーをかならず保管しておいてください。

審査・選考

1. 選考方法

選考委員会において下記選考基準に基づき、厳正かつ公平に審査・選考を行い、2014年3月に開催する理事会において、最終的に助成先及び助成金額を決定します。

2. 選考基準

以下の5項目を勘案して、総合的に判断します。

項目	ポイント
(1) 事業の必要性・公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・社会からのニーズや緊急性が高い事業か ・なぜその問題に取り組まねばならないかが明確か
(2) 事業の独創性・先駆性	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでにない新しい取り組みか ・従来にない新しい視点や発想、手法が盛り込まれているか
(3) 事業の実現可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の内容や方法は妥当か ・事業のスケジュールや実施体制は妥当か (必要に応じて他団体等との連携をとっているか)
(4) 費用、予算の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の内容に見合った経費見積りかどうか ・単価は妥当か ・助成の費用対効果は高いか ・事業に係る収入見込みは妥当か ・適切な水準の受益者負担を徴収するようにしているか
(5) 事業の波及・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・一過性の事業でなく、事業の拡大や継続性、波及効果が期待できるか ・助成を受けることで、団体や事業の発展が見込めるか

3. 選考結果

選考の結果は、決定後直ちに申請者（代表者）に文書で通知します。なお、採択・非採択の理由等に関する問合せには一切応じられません。

4. 助成金の支給

採択結果の通知後、振込先確認等の手続きを経て、2014年4月下旬に支給する予定です。

その他留意事項

1. 事業の実施報告

助成対象事業終了後3ヵ月以内に報告書を提出して頂きます。この報告書の提出がない場合、助成金を返還して頂きます。なお、事業の終了以前にも実施状況について報告をいただく場合があります。事業実施報告書の要件や様式については、3月の採択結果通知時にあらためて連絡致します。

2. 助成金の返還義務

次の場合は、助成金の全部または一部を返還していただきます。

- (1) 助成金を、対象事業以外または対象経費以外に使用したとき
- (2) 実施報告書を提出しなかったとき
- (3) 助成した事業が中止、あるいは助成期間終了後、費消されていない助成金があるとき
- (4) 申請書提出時の計画から大幅に変更になるときや、変更により所期の成果が達成されないとき

3. 個人情報の取り扱い

ご提供いただいた個人情報は、当財団の業務遂行上必要な範囲に限定して利用します。

また、上記目的及び法令等の定める場合を除き、事前に申請者本人の同意を得ることなく、個人情報を第三者に提供いたしません。

申請書の提出先及びお問い合わせ先

〒540 0029 大阪市中央区本町橋2-8 大阪商工会議所5階

公益財団法人 大阪コミュニティ財団 事務局

山本、勝山、坂上

TEL 06-6944-6260 FAX 06-6944-6261

Email: info@osaka-community.or.jp

助成する基金の種類・分野・助成金額

大阪コミュニティ財団は、寄付者のお志や目的に添った様々な基金を受け入れています。このうち今回、助成を公募する基金は次のとおりです。

助成の対象地域は、対象地域の指定の記述がない限り、日本全国・海外が対象となります。助成対象となる事業は、非営利団体等（団体の法人格の有無は問いません）が2014年4月1日から2015年3月31日までの間に実施を予定している事業です。

なお、助成割合に限度は設けませんが、自己資金をできるだけご用意ください。

分野別助成募集総額

(円)

【一般基金による助成】		
青少年の健全育成または地域社会の活性化		5,536,474
【その他の基金による分野別の助成】		
1	医学医療の研究、難病対策・医療患者支援	4,800,000
2	青少年の健全育成	2,480,000
3	社会教育・学校教育の充実	3,800,000
4	芸術・文化の発展・向上	7,360,000
5	開発途上国への支援	7,320,000
6	環境の保護・保全	28,746,000
7	地域社会の活性化	520,984
8	震災復興活動支援	25,530,000
9	動物の訓練、支援活動	460,000
10	健康増進、健全育成の支援	60,000
11	公益法人の振興・発展	300,000
12	社会福祉の増進	8,470,000
合 計		95,383,458

分野別・基金別助成募集額

一般基金による助成

青少年の健全育成または地域社会の活性化

【柏岡精三記念基金】

助成分野 青少年の健全育成または地域社会の活性化を目指す活動

助成総額 200万円（1件あたり50万円まで）

【川嶋昇基金】

助成分野 青少年の健全育成または地域社会の活性化を目指す活動

助成総額 10万円

【匿名基金 NO.16】

助成分野 青少年の健全育成または地域社会の活性化を目指す活動
助成総額 20万円

【匿名基金 NO.17】

助成分野 青少年の健全育成または地域社会の活性化を目指す活動
助成総額 20万円

【大阪信用金庫ふれあいスマイル基金】

助成分野 青少年の健全育成または地域社会の活性化を目指す活動
助成総額 250万円（1件あたり50万円まで）
対象地域 大阪府

【だいしんビジネスふれあいスマイル基金】

助成分野 青少年の健全育成または地域社会の活性化を目指す活動
助成総額 15万円
対象地域 大阪府

【活力ある大阪を求める会基金】

助成分野 青少年の健全育成または地域社会の活性化を目指す活動
助成総額 5万円
対象地域 大阪府

【大野隆夫 社会への恩返し基金】

助成分野 青少年の健全育成または地域社会の活性化を目指す活動
助成総額 10万円

【双栄基金】

助成分野 青少年の健全育成または地域社会の活性化を目指す活動
助成総額 2万円

【ばんちゃんさわやか基金】

助成分野 青少年の健全育成または地域社会の活性化を目指す活動
助成総額 20万円

【一般基金（ディズニーこども基金、災害救援活動支援基金、和泉市くすの木基金、匿名基金 NO.11 など）】

助成分野 青少年の健全育成または地域社会の活性化を目指す活動
助成総額 約1万6千円

その他基金による助成 医学医療の研究、難病対策・医療患者支援

【タケイ基金】

助成分野 がん研究への助成
助成総額 30万円

【斉藤坂江・操ガン研究基金】

助成分野 がん研究への助成
助成総額 10万円

【森永琢也基金】

助成分野 小児疾患研究への助成
助成総額 10万円

【鷲澤孝子難病助成基金】

助成分野 難病研究への助成
助成総額 10万円

【難病対策基金】

助成分野 難病患者を支援する活動
助成総額 50万円

【人工透析患者対策支援基金】

助成分野 人工透析患者を支援する活動
助成総額 150万円（1件あたり100万円まで）

【子供の難病対策支援基金】

助成分野 子どもの難病対策を支援する活動
助成総額 40万円

【木原隆がん基金】

助成分野 がんに関するシンポジウムなど、がん医療を支援する活動
助成総額 100万円（1件あたり50万円まで）

【医療被害者支援基金】

助成分野 医療被害者を支援する活動
助成総額 30万円

【大阪エイズ対策基金】

助成分野 エイズ対策活動
助成総額 50万円

青少年の健全育成

【江田直介・静子健やかな青少年育成基金】

助成分野 青少年の健全育成

助成総額 200万円（1件あたり50万円まで）

【西川真文・睦栄基金】

助成分野 青少年の健全育成

助成総額 25万円

【シャレドワ基金】

助成分野 青少年の健全育成

助成総額 3万円

【大阪厚生信用金庫地域・社会貢献基金】

助成分野 地域の子どもたちを育む活動

助成総額 20万円

対象地域 大阪市

社会教育・学校教育の充実

【緒方弘文・信子基金】

助成分野 国内外の恵まれない子どもたちの教育振興・教育環境の整備

助成総額 30万円

【アジア奨学基金】

助成分野 アジアからの留学生に奨学金を支給

助成総額 10万円

【商業界女性ゼミナール基金】

助成分野 女性起業家（企業家）を育成する事業

助成総額 40万円

【大阪府教員研修のための梶本基金】

助成分野 大阪府内の先生方の研修事業

助成総額 300万円（1件あたり100万円まで）

対象地域 大阪府

芸術・文化の発展・向上

【佐海キヌ賞基金】

助成分野 文学・美術・演劇・音楽・舞踏の分野で優れた業績を上げた方を顕彰

助成総額 100万円

【木内秀雄賞基金】

助成分野 文学・美術・演劇・音楽・舞踏の分野で優れた業績を上げた方を顕彰
助成総額 50万円

*「佐海キヌ賞基金」および「木内秀雄賞基金」に応募をお考えの方は、当財団事務局（06-6944-6260）にご相談ください。

【藤井きみ系謡曲基金】

助成分野 文化の振興
助成総額 10万円
対象地域 大阪府

【片山千歳古典芸能振興基金】

助成分野 古典芸能の振興
助成総額 200万円（1件あたり100万円まで）

【本田八重子声楽基金】

助成分野 クラシック音楽の振興
助成総額 5万円

【平井万佐治・悦子音楽振興基金】

助成分野 クラシック音楽の振興
助成総額 1万円

【竹井利子謡曲・狂言基金】

助成分野 謡曲・狂言の振興
助成総額 30万円

【大塚伸二基金】

助成分野 演劇やクラシック音楽に取り組む若者の活動
助成総額 300万円（1件あたり100万円まで）
対象地域 近畿圏

【匿名基金 NO.18】

助成分野 九州地区（除沖縄県）において琴・三絃・十七絃を主楽器とした演奏会の開催
助成総額 40万円
対象地域 九州地区

開発途上国への支援

【ストリートチルドレン等救済基金】

助成分野 東南アジアの虐げられている子どもたちへの救済活動
助成総額 300万円（1件あたり100万円まで）
対象地域 東南アジア

【吉良道子基金】

助成分野 東南アジアの子どもたちの教育を支援
助成総額 7万円
対象地域 東南アジア（とくにベトナム）

【がっこう基金】

助成分野 アジアにおける学校建設や運営支援
助成総額 300万円（1件あたり100万円まで）
対象地域 アジア

【前田 哲基金】

助成分野 海外での学校建設やその運営支援
助成総額 100万円

【Koto Syoko, JAPAN 基金】

助成分野 恵まれない子どもたちへの教育・生活・医療支援など
助成総額 10万円
対象地域 ネパール、カンボジア、ミャンマー、アフガニスタン、ウガンダ、ケニア

【滝実出版記念会基金】

助成分野 カンボジアにおける子どもへの教育支援
助成総額 15万円
対象地域 カンボジア

環境の保護・保全

【和泉市水仙基金】

助成分野 自然環境の保全
助成総額 100万円
対象地域 和泉市

【NTT 自然環境保護基金】

助成分野 自然環境の保護
助成総額 40万円
対象地域 近畿2府4県

【再彩市場基金】

助成分野 環境の保全
助成総額 5万6千円

【大輪会ふれあい基金】

助成分野 「自然と人間の共生」の理念に沿った花・緑・水に関する事業
助成総額 100万円

【セバタン環境保護基金】

助成分野 環境の保護・保全（子供対象の事業）
助成総額 10万円

【匿名基金 NO. 21】

助成分野 環境の保護・保全
助成総額 8万円

【東洋ゴムグループ環境保護基金】

助成分野 環境の保護・保全
助成総額 約2600万円（1件あたり原則として100万円まで）

【Le Cadeau des Loups 基金】

助成分野 野生動物の保護、その生存環境の保全
助成総額 10万円

【一夫フラワー基金】

助成分野 緑化・環境改善
助成総額 1万円

地域社会の活性化

【大阪商工会議所第21代会頭佐治敬三顕彰基金】

助成分野 社会福祉の増進、商工業の発展
助成総額 20万円

【大阪市信用金庫せんだぎ基金】

助成分野 健全で豊かな街づくりのための文化・スポーツ団体への支援
助成総額 30万円
対象地域 大阪を中心とする近畿

【西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部 地域活性化支援基金（A～E 5基金）】

助成分野 人々の交流を推進する活動、自然と人間が共生する活動、障がいを持つ方々が社会参加するための活動、地域を活性化し元気にする様々な活動

助成総額 約2万円

対象地域 西日本（福井県以西～沖縄県まで）

東日本大震災等復興活動支援

【東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金 分野1】

助成分野 東日本大震災及び原発災害によって被害を受けた地域のコミュニティの再生、復活を目指す創造的な活動

助成総額 1500万円（1件あたり500万円まで）

対象地域 岩手県、宮城県、福島県

【東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金 分野2】

助成分野 東日本大震災及び原発災害からの復旧、復興を目指す活動

助成総額 853万円（1件あたり25万円まで）

【東日本大震災復興基金】

助成分野 東日本大震災復興支援活動

助成総額 200万円（1件あたり100万円まで）

健康増進、健全育成の支援

【YM健康スポーツ基金】

助成分野 健康増進、スポーツ振興

助成総額 3万円

【原っぱ基金】

助成分野 スポーツ少年のための原っぱ確保

助成総額 3万円

動物の訓練、支援活動

【畑田ポチ&パイパイ基金】

助成分野 動物愛護活動

助成総額 23万円

【美舟基金】

助成分野 盲導犬、聴導犬、介助犬に関する事業

助成総額 20万円

【純久・京子盲導犬育成基金】

助成分野 盲導犬の育成、訓練、研究等の支援
助成総額 3万円

公益法人の振興・発展

【清文社基金】

助成分野 公益法人に関する調査・研究
助成総額 30万円

社会福祉の増進

【SEIN チャイルド基金】

助成分野 恵まれない子どもたちへの福祉支援
助成総額 7万円

【山崎ハナ・千太郎・文子子供基金】

助成分野 恵まれない子どもたちの支援
助成総額 15万円

【かけはし基金】

助成分野 親を失った子どもたちの自立を支援する活動
助成総額 29万円

【秋田佳津さする庵基金】

助成分野 恵まれない子どもたちへの支援
助成総額 5万円

【義行、登志子親子基金】

助成分野 交通遺児や恵まれない子どもたちを支援
助成総額 100万円

【鈴木フサ交通遺児福祉基金】

助成分野 交通遺児を支援する活動
助成総額 100万円

【和泉市水仙基金】

助成分野 心身障がい者・障がい児への福祉
助成総額 50万円
対象地域 和泉市

【福井敏ガン・医療基金】

助成分野 身体障がい者等への支援
助成総額 200万円(1件100万円まで)

【美知身障者福祉基金】

助成分野 身障者の労働作業環境の整備
助成総額 150万円(1件100万円まで)

【結(ユイ)の世界実行委員会基金】

助成分野 知的障がい者の作業所が行う活動
助成総額 50万円
対象地域 大阪府、奈良県、沖縄県

【知的障害者支援基金】

助成分野 知的障害者への支援
助成総額 50万円
対象地域 大阪府池田市

【日産化学大阪福祉基金】

助成分野 社会福祉・身障者福祉活動
助成総額 20万円

【Home Sweet Home 基金】

助成分野 独居老人の介護など高齢者対策
助成総額 10万円

【ケンコー基金】

助成分野 高齢者対策
助成総額 10万円

【秋田佳津ザンマイムイ基金】

助成分野 高齢者の福祉活動支援
助成総額 5万円

【えがお基金】

助成分野 お年寄りや青少年のための施設や病院、ボランティア活動への支援
助成総額 5万円

【ダイダン社会貢献活動基金】

助成分野 社会貢献活動全般
助成総額 20万円

【大阪厚生信用金庫福祉基金】

助成分野 社会福祉活動全般

助成総額 1.5万円

対象地域 大阪市

【吉岡徳子社会福祉基金】

助成分野 社会福祉活動全般

助成総額 5万円

対象地域 伊丹市を中心とする兵庫県内

【スミエしあわせ基金】

助成分野 社会福祉活動全般

助成総額 1万円

2014年度 助成申請書

2013年 月 日

公益財団法人 大阪コミュニティ財団御中

団体名			
代表者	役職		
	氏名		
所在地	〒	-	
	住所		
	電話		

【記入にあたってのお願い】
 誤記防止のためシートに保護をかけています。保護の解除ならびに保護部分の改変、シートの削除等を行わないでください。
 黄色の網掛け部分は、他の項目に記入すれば、自動的に入力されますので、黄色の網掛け部分には記入しないでください。
 記入欄の枠を超えて記入せず、枠に収まるように記入してください。
 印刷の際は、ページ設定を1～6ページとしてください。

団体・グループの代表者印(代表者印がない場合は、代表者の私印)を押印してください。

下記の事業に対し、助成を申請します。

1 助成を申請する事業			
名称			
内容概略 (80字程度で、助成が決定した場合、この内容をホームページ等に掲載します。)			
2 助成を申請する分野(該当する分野の欄に)			
(1) 医学医療研究の推進・医療患者支援	(2) 青少年の健全育成		
(3) 社会教育・学校教育の充実	(4) 芸術・文化の発展・向上		
(5) 開発途上国への支援	(6) 環境の保護・保全		
(7) 地域社会の活性化	(8) 震災復興支援		
(9) 社会福祉の充実	(10) その他 ()		
3 申請事業の総経費(12のAの金額)	円	助成比率	
4 助成金申請額(12のBの金額)	円		
5 連絡先			
申請担当者	役職	ふりがな	
		氏名	
	電話	E mail	
6 添付必要書類((1)(2)(3) は必須) (添付書類に)			
(1)	団体の定款、寄付行為または規約等		
(2)	団体の役員名簿		
(3)	最近年度の事業報告書・決算報告書		
(4)	申請事業を紹介する写真・パンフレット・新聞・雑誌記事のコピー等 (同様の事業をこれまでに実施したことがある場合)		
(5)	必要経費の見積書または価格表(選考委員がその価格の妥当性を客観的に評価できるもの)		

事業の内容や目的を端的に表す名称を簡潔に記入してください。

できるだけわかりやすい表現で記入してください。

自動入力欄です。事業の収支計画欄に入力すると、自動転記されますので、記入しないでください。

電話は、携帯等連絡のつく番号を記入してください。

* 個人情報は、選考およびそれに関連する連絡、情報提供のためにのみ利用します。

助成を申請する事業について

7 名称(1.の名称と同じ)														
8 実施時期(期間)	西暦		年		月		日	~		年		月		日
9 実施場所														
10 事業の対象														
(1) 事業の主たる対象者														
(2) 対象とする人数														人
11 事業内容														
(1) 事業の背景・必要性・目的														
(2) 事業の内容														
(3) 前年度からの継続事業の場合、今回の申請での改善点、変更事項等														

1の助成を申請する事業の名称から転記されますので、入力しないでください。
2014年4月1日～2015年3月31日の範囲内で記入してください。

事業を実施することにより、具体的に誰が受益者となるのかを記入してください。

事業を計画(実施)するに至った背景や、計画(実施)の前提となる課題や事業を行う目的などについて、簡潔に記入してください。

事業の実施方法や具体的な内容(いつ、何と、どこで、どのように行うか)について記入してください。

前年度からの継続申請でない場合、記入は不要です。

<記入要領>

12 事業の収支計画

(1) 収入

費目	金額(円)	備考(内容、内訳や算出根拠を具体的に)
当財団助成金(申請額) B		大阪コミュニティ財団 * 基金 (*他の基金から助成する場合があります。該当基金名がわからない場合は、空白でも可。)
自己資金		
参加費等利用者負担金		
その他収入 (他団体からの助成金・協賛金等 上記以外の収入を記入してください。)		
合計 A	0	

今回申請している事業についての収支計画を記入してください。

自動計算されます。

(2) 支出

費目	本財団の助成金を充てたい費目に	金額(円)	備考(内容、内訳や算出根拠を具体的に)
謝金			
人件費			
旅費・交通費・宿泊費			
消耗品費			
印刷・製本費			
通信・運搬費			
借料・会場費			
業務委託費			
機械器具・物品購入費			
その他			
合計	A	0	

費目は、「申請者のためのガイド」を参考に区分してください。

必ず一致するようにしてください。

自動計算されます。

(助成金の活用を申請している費目に関するものについては、価格表や見積書を添付のこと。選考委員がその価格の妥当性を判断するために必要です。)

(3) 助成金申請額が、満額認められない場合の対応について

--

申請額が満額認められなかった場合に、「事業を中止する」あるいは「経費を切り詰めて実施する」など、どのように対応される予定かを記入してください。

貴団体について

13 団体名	ふりがな									
	団体名									
14 設立年月日	西 曆		年		月		日			
15 代表者	役 職						ふりがな			
							氏 名			
16 郵便物等送付先	〒		-							
	住 所									
17 連絡先	電 話						FAX			
	E-mail									
	URL									
18 会員数	正会員		人・社	その他会員（賛助会員等）				人・社		
19 スタッフ数	総 数		人（内訳）	有給		人	無給		人	
20 団体の活動目的										
21 事業区域（大阪府、全国など）										
22 主な事業項目										
23 最近の主な活動										

1ページの団体名から自動転記されます。

実際に活動を始めた年月日（法人については、登記年月日）を記入してください。

1ページの代表者欄から自動転記されます。

郵便物が確実に届くように記載をお願いします。

・原則として、こちらに記載の住所の後に、上記の団体名、所属・役職、お名前を続けたものを送付先と致します。

・「**様方」、「**所内」等、郵便物が確実に届く住所を記入してください。

・申請団体以外への結果送付を希望される場合も、郵便物が確実に届く住所（ビル名等も）を記入してください。

最近3年間の主な活動実績を記入してください。

< 記入要領 >

24 団体の特徴	
----------	--

貴団体のアピールポイントや他の団体にはない特色や強みなどを記入してください。

25 過去3年間の収支状況				
年度	収入(円)		支出(円)	
2010年度	会費		事業費	
	事業収入		管理費	
	その他			
	合計	0	合計	0
2011年度	会費		事業費	
	事業収入		管理費	
	その他			
	合計	0	合計	0
2012年度	会費		事業費	
	事業収入		管理費	
	その他			
	合計	0	合計	0

申請事業ではなく、貴団体全体の収支状況について記入してください。

自動計算されます。

自動計算されます。

自動計算されます。

26 これまでに当財団からの助成を受けている事業等(助成を受けていない場合は記入不要)		
助成年度 (西暦)	事業名	助成金額(円)

2013年度に助成を受けている場合、その事業が完了していない場合は、事業の現状報告を添付してください。A4用紙1枚、簡条書き。
また、上記に記入した事業の成果や課題があれば、ご記入ください。

--